

## 国際化学肥料ニュース（2020年3月）

### 肥料業界の2020年3月動態

- \* 中国税関の速報によれば、新型コロナウイルスおよび中国春節休暇の影響で、2020年1～2月の化学肥料輸出量が26.2%減の270.2万トン、金額では45.4%減の5.54億ドル。その内訳は尿素が47.6%減の51万トン、硫酸が3.2%増の97万トン、DAPが63.7%減の26万トン、MAPが9%増の24万トン。  
一方、1～2月の化学肥料輸入量が31.3%減の169.9万トン、金額では32.2%減の5.26億ドル。その内訳は塩化加里が31.3%減の130万トン、NPK化成肥料が12.3%減の22万トン、DAPなども約18万トンを輸入した。
  
- \* 3月中旬、中国側と世界の加里大手メーカーが2020年塩化加里輸入基本契約に関する商談を始めた。前回の2018年6月に締結された2018年塩化加里輸入基本契約はCFR290ドル/トンで決着したが、2019年の商談では価格に折合が付き、締結できなかった。今回は中国国内塩化加里の在庫がもうすぐ底に尽き、世界の加里メーカーも需要不足による大量の在庫を抱えるため、双方とも早急に締結する願望がある。消息筋によれば、4～5月に2020年塩化加里輸入基本契約がCFR230～240ドル/トンで締結されるだろうと推測される。
  
- \* 3月21日、インドRCF社が尿素の国際入札を発表した。今年インド初の尿素入札である。切開札は3月30日、船積期限5月5日、購買数量が未定とされるが、価格次第で100～150万トンを購入する可能性がある。新型コロナウイルス対策として、すべての船が船積出港してからインドの港に到着し納品まで14日以上の間隔を開ける必要がある。世界の尿素市況が低迷している現状では、多分CFR価格が260ドル/トン以下になるだろうと推測される。
  
- \* 3月25日、インド政府が新型コロナウイルスを封じ込むために3週間の外出禁止命令を出した。それにより3月30日締め切り、開札予定のインドRCF社の尿素国際入札はその開札が延期された。新の開札日時は不明である。
  
- \* イスラエルのICL社は新型コロナウイルスの影響でスペイン政府が実施している外出禁止令に応じて、3月23日から傘下のSuria加里鉱山とSallent加里鉱山の生産量を50%削減することを発表した。Suria加里鉱山とSallent加里鉱山はスペインの主力加里鉱山で、前者は年間95万トン塩化加里、後者が年間25万トン塩化加里の生産能力を有する。

\* 塩化加里の国際貿易データ

国名	期 間	輸 出 量	輸 入 量	増減率
インドネシア	2019年1～12月		280万トン	-20%
フランス	2019年1～12月		66万トン	-16%
イギリス	2019年1～12月		46万トン	39%
アイルランド	2019年1～12月		18万トン	2.6%
インド	2020年1月		38.3万トン	27%
アメリカ	2020年1月		85.2万トン	-32%
スペイン	2019年1～12月	63万トン		-15%
ベラルーシ	2019年1～12月	1030万トン		-5.8%
カナダ	2020年1月	140万トン		-29%

- \* 新型コロナウイルスが DAP と MAP の国際市況に悪影響を及ぼしている。主な需要国の外出禁止措置により、港作業と国内陸送が制限され、物流に大きな障害が出た。ヨルダン JPMC 社が所有のりん鉱山とりん酸肥料製造設備の一時稼働停止を考えているようである。中国と中東のりん安輸出価格が上昇し、今年最高値となった。サウジアラビアの Sabic 社が CFR310 ドル/トンでインドに 3 万トン DAP を輸出したが、インド側は 3 月 13 日と 16 日に 2 度にわたり、24 万トンの DAP 入札を行ったが、応札価格が設定ラインを超えたため、流された。ブラジル向けの粒状 MAP も CFR316 ドルを超えた。
- \* 新型コロナウイルスの影響で、インド政府が 3 月 25 日から 3 週間の全国外出禁止命令を出した。それによりインドのりん酸肥料メーカー FACT, Iffco, Zuari, GSFC, PPL, Greenstar と CIL の各社がそれぞれ減産または稼働停止を発表し、4 月国内 DAP 生産量が 20 万トン以上減少する見込みである。また、3 月末に予定されている RCF 社の 9 万トン DAP の開札がキャンセルされ、4 月初めに予定されている GSFC 社と NFL 社の DAP 入札も延期される。インドの状況により東半球のりん安貿易がほぼ停止状態に陥る。
- \* カナダの Itafos 社は所有のブラジル Itafos Arraias りん鉱山と選鉱工場を一時的に閉鎖することを決めた。世界的りん安とリン酸肥料の価格低迷で、生産コストの高い Itafos Arraias りん鉱山とリン鉱石の選鉱工場を休業させることは収益の改善に有利である。ただし、市況が改善されれば、再開の可能性があるという。Itafos Arraias りん鉱山とその付属工場は過リン酸石灰と PK 配合肥料を年間約 50 万トン生産し、すべてブラジル国内に販売している。

- \* 新型コロナウイルスの影響で、3月下旬、ペルーの Bayovar リン鉱山が閉山に追い込まれ、再開が未定という。すでに3月中旬からペルー政府は Bayovar リン鉱山を封鎖した。

### 大手各社の営業業績

- \* ロシアの Uralkali 社が 2019 年の業績を公表した。塩化加里生産量が 3%減の 1110 万トン、販売量が 12%減の 980 万トン。塩化加里国際価格の上昇により、売上高が 1%増の 23.64 億ドル、EBITDA が 8%増の 5.78 億ドル、純利益が 1%増の 2.782 億ドル。なお、塩化加里の年間平均輸出価格が 11%増の 235 ドル／トンである。
- \* ロシアの Acron 社は 2019 年の業績を公表した。肥料生産量が 1%減の 745.8 万トン、販売量が 4%増の 756.9 万トン。売上高が 6%増の 1148.35 億ルーブル（米ドル換算では 3%増の 17.74 億ドル）、EBITD が 4%減の 357.49 億ルーブル（米ドル換算では 5%減の 5.52 億ドル）、EBITD マージン率 31%である。純利益が 86%増の 247.86 億ルーブル（米ドル換算では 80%増の 3.83 億ドル）。
- \* モロッコの OCP 社が 2019 年の業績を公表した。2019 年リン酸肥料輸出量が 70 万トン増の 890 万トン、そのうち DAP/MAP 輸出量が 60 万トン増の 600 万トン、重過リン酸石灰輸出量が 110 万トン。NP 化成肥料輸出量が 20 万トン増の 190 万トン。リン酸肥料の輸出先は南米 30%、アフリカ 20%、北米 20%、ヨーロッパ 20%、アジア 10%である。しかし、リン酸肥料の国際価格の低迷で、売上高が 3.2%減の 56.2 億ドル、EBITDA が 10%減の 15.9 億ドル、営業利益が 6.63 億ドル。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* トルコの GEMLIKGÜBRE 社がブルサ県 Gemlik 市に尿素と UAN（尿素硝安液肥）の工場を建設する。設計生産能力が尿素 1640 トン／日、UAN500 トン／日。イタリアの Maire Tecnimont SpA 社が総額 2 億ユーロの EPC（エンジニアリング、調達、建設）を請負う。今年中に建設を開始し、3 年後に完成する予定である。Gemlik 市はイスタンブール南 125m のところにある。
- \* モロッコの OCP 社は 2020 年 Jorf Lasfar にある工業団地に新しいリン酸肥料プラントを完成させる計画に変更がないと発表した。当該新しいリン酸肥料プラントは 3 本の硫酸生産ライン、1 本のリン酸生産ラインと 3 本リン酸肥料生産ラインから構成され、年間生産能力 300 万トンと予定されている。また、Safi 工業団地に新たに 1 本の硫酸生産ラインを新設して、年間 70 万トン硫酸を生産する計画である。

## その他

- \* イギリスを本拠地とするビジネスインテリジェンス会社 CRU グループは新型コロナウイルスの影響で、3月8～10日フランスのパリで開催予定の Phosphates 2020 イベントを中止することを発表した。その声明では、パリには現在旅行を制限することがないが、世界ほかの地域での旅行制限と企業の出張制限などにより、当該イベントは外国参加者にとってますます困難な提案となるため、中止が最適な選択であると述べた。
  
- \* ノルウェーの Yara 社は所有しているカタール肥料 (QAFCO) 社 25%の株式をカタール石油 (QP) に譲渡することになる。その譲渡金額は 10 億ドルである。QAFCO 社は 1969 年設立されて、尿素生産ライン 6 本、年間生産能力アンモニア 380 万トン、尿素 560 万トン、設立してからずっと世界最大の尿素メーカーの地位を保持してきた。その持ち株はカタール工業グループ (IQ) 社 75%、Yara 社 25%であるが、譲渡により QAFCO 社が 100%のカタール国営企業になる。
  
- \* ドイツの K+S 社は事業の見直しの一環として、北米と南米の塩業務部門を売却し、加里肥料事業に集中することを発表した。なお、塩業務部門の売却先はアメリカの Morton Salt 社で、売却により約 20 億ユーロの債務を削減できるという。
  
- \* イギリスの Anglo American plc 社は同じイギリスの Sirius Minerals 社の買収を完了したと発表した。Sirius Minerals 社は北ヨークシャーのポリハライト (加里を含む鉱物の 1 種) を開発する Woodsmith プロジェクトを進めているが、資金に底をつき、倒産する直前になった。買収金額は 4.05 億ポンドである。Anglo American plc 社は当該加里開発プロジェクトを引き続き進行することも表明した。
  
- \* 3月27日、中国貴州省最大の化学肥料メーカー赤天化社は子会社桐梓化工社の 100% 株式を売り出すと発表した。桐梓化工社は赤天化社の尿素生産子会社で、年間 100 万トン尿素を生産する能力があるが、2017 年と 2019 年に大きな赤字を出した。桐梓化工社を手放すことで、赤天化社は化学肥料事業から完全撤退し、医薬事業に転換する。